

# 日通四国サヨナラ初V

▽決勝 (八王子市民) 旭鋼管工業(埼玉) 0101000001 00101001001X 2

軟式野球の最高峰、天皇賜杯第65回全日本大会(全日本軟式野球連盟、スポーツニッポン新聞社主催)は22日、東京都八王子市の八王子市民球場で決勝を行った。日本通運四国(香川)が劇的なサヨナラ勝ちで旭鋼管工業(埼玉)を下し、10度目の出場で悲願の初優勝。香川県勢としては74年の大倉工業以来36年ぶりの軟式日本一の座に就いた。

▽決勝 (八王子市民) 旭鋼管工業(埼玉) 0101000001 00101001001X 2

日本通運四国(香川) (旭)佐藤聖一前川 (目)宮脇、筒井、和歌 (目)西岡、和歌(目)

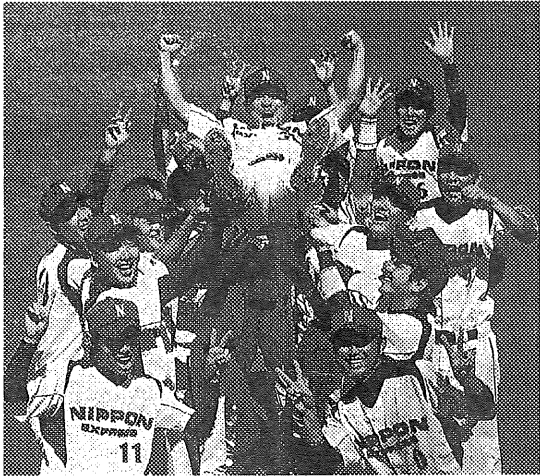
## 主将高橋決めた

△日本通運四国▽主将のバットで初優勝を決めた。同点の9回1死満塁から、7番・高橋が佐藤

聖の直球をサヨナラ中犠飛。一塁側スタンドから五色の紙テープが投げ込まれる中、社会人15年目の33歳は「ここまで来たら自分で決めるつもりでした」と声を弾ませた。奴賀(ぬか)監督は今年1月に就任し、いきなりの日本一。チームも10度目の出場で大願を成就し、「私が緊張している中、主将の高橋をはじめ選手がよくやってくれた」と目を潤ませていた。

▽旭鋼管工業 百瀬監督 (連投のエース佐藤聖は)よく投げたが延長戦もあり、体力的には厳しかった。(随所に堅守を見せ)うちは守備にこだわりがあった。

△表彰選手▽▽最優秀選手賞 筒井将平(日本通運四国)▽優秀選手賞 西岡貴大(日本通運四国)▽敢闘選手賞 佐藤聖也(旭鋼管工業)



<日本通運四国・旭鋼管工業>胴上げされる奴賀監督はガッツポーズ